



## 初めての考査

先ずは学級日誌より。

\*

▼5月30日(月) ●●

1 地学 プリント

最後の自習が有効に使えた

2~3 体育 バレーボール プレミアリーグ

女子はみんなすごく楽しそうで、チームで団結できた

4 英表 発音

heart と hurt が難しい

5 数学 シラバスの解説

数学は一生つきまとう

6 日本史 祈年祭 新嘗祭

範囲が終わって一安心

7 古典 画竜点睛

音読は慣れると楽しい

○テスト開始まであと21hです。みんなテスト前で謎のテンションにおちいって、いつもよりハイテンションでした。テスト前でプレッシャー?もあると思うけど、ラストスパートがんばりたい。

▼5月31日(火) ●●

1 地理 意外にイケた

2 数学 ムズい、時間がない

○つかれた

▼6月1日(水) ●

1 地学基礎 悲壮感

2 コミュ英 時間が足りなかった

3 日本史 時間が足りなかった

○疲れた

▼6月2日(木) ●●

1 現代文 ボリュームのあるテストだった

2 英表 英作文の量が多い…!

○テストも9教科のうち7教科が終わり、残すところあと1日!!明日は難関の生物が待っている~w

▼6月3日(金) ●●

1 古典 はかなくなりぬ

2 生物 平均点下げに貢献できました

○いろいろ終わった。疲れた。死んだ。月曜日から来たくない。赤点とやらはやめて欲しい。留年したくない。

\*

日比谷での初めての中間考査が終了したが、学級日誌の通り、時間が足りなかったり、量が多かったりして、最後までたどり着けなかった科目もあったに違いない。中学までの考査とは大違いだということが分かっただろう。●●くん、「いろいろ終わった」のは分かるけど、ちゃんと学校に着てね(笑)。

ということで、大切なのは「これから」だ。進路通信5月号にも書いたが、今回の結果をどう受け止め、それをどう次に結びつけるかが大切なのである。入学直後のオリエンテーションの時に、進路主任の先生が「最初の中間考査で300位近かった生徒が、現役で東大に合格した」と話していらしたが、その生徒は、きっと初めての考査の結果を素直かつ謙虚に受け止めて、それを「次」に生かしたに違いない。

前期の期末考査は夏休み明けである。これからの一時間一時間の授業を予習・復習でしっかり消化していくとともに、部活や行事準備との両立(鼎立)を工夫しよう。副教材などに課題を残した人も、次こそは計画的に。

さあ、今日から再起動! FIGHT!